

保護者各位

早稲田中学校・高等学校

冬期宿泊行事参加者への注意事項とお願い

冬期休暇中、ご子息が宿泊を伴う学校行事やクラブ合宿に参加する場合、特に次のことにご配慮いただきますようお願いいたします。

■■ 出発前の感染症対策について ■■

1. 宿泊行事出発の1週間程度前から、検温や健康観察を行って、万全の体調で参加するようにしてください。
2. **出発の前日に、本人に発熱や風邪症状など、感染症が疑われる次のような症状があった場合は、宿泊行事へは参加しないでください。**

① 体温が37.5℃以上の発熱がある場合

※37.5℃未満でも解熱剤を服用している場合は参加できません。

② 次のような症状がある場合

- ・ 発熱、寒気、強い倦怠感、関節痛など体の痛み
- ・ 咳、のどや鼻の症状
- ・ 腹痛、嘔吐、下痢などの胃腸症状
- ・ 発疹、その他の症状

※ **学校感染症(本校ホームページに掲載)や感染症法で行政措置がされる感染症に罹患していた場合は、他の参加者や宿泊先、交通機関やその他の関係機関にも重大な影響を及ぼしかねません。本人に感染症が疑われる症状がある時は、参加しないことを原則としてください。また、同居家族が感染症に罹患している場合は、ご家庭の判断にはなりますが、くれぐれも無理のないようにしてください。**

3. **詳細は、各行事・クラブの注意事項に従ってください。**

■■ 現地での感染症対策について ■■

現地では各自、次のような感染症対策をお願いします。

1. 各行事の引率教員の指示に従って健康観察を行ってください。
各自、体温計を持参し、毎朝検温することを推奨します。
2. 食事前やトイレ後、外から宿舎に戻った際などは、手洗いと手指消毒を行ってください。
3. 部屋の換気を行ってください。
4. 宿舎内では、食事中・入浴時・就寝時を除きマスクを着用することを推奨します。
5. 体調が悪くなったら、すぐに引率教員へ報告してください。

裏面へ➡

■■常備薬持参について■■

行事参加中は、環境や体調の変化を伴います。万一、現地で体調を崩してしまった際、病院が近くにない場合は、受診までに時間がかかります。行事に参加する際は、**ご家庭で次のような救急薬や治療薬を用意してください**。薬は副作用やアレルギーを起こすことがあるため、個人に合ったものを各自持参するようにお願いします。

① 常備薬(全員)

薬のアレルギーを考慮したものや、個人に合ったものを持参してください。

② 抗アレルギー薬(食物アレルギー・その他のアレルギー・じんま疹の既往歴がある人)

食物アレルギー・その他のアレルギー・じんま疹が出た経験がある人は、万一の場合に備えて、主治医からの処方薬を持参してください。

③ ぜんそく薬(ぜんそくの既往歴がある人)

過去3年間に発作を起こしたことがある場合は、必ず主治医を受診し、発作時の薬を持参の上、行事に参加するよう学校医より指示がありました。

また、長年発作を起こしていない場合でも、環境の変化により、突然発作を起こす可能性があります。ぜんそくの既往歴がある人は、念のため、ぜんそく薬を持参することをお勧めいたします。

④ 虫さされや虫よけの外用薬(草木の多い場所に行く人・虫さされに弱い人)

自然が多い場所では、虫さされなどに注意が必要です。長そで長ズボンの対策とともに、自分に合った虫よけスプレーや虫さされ用の軟膏などを各自用意してください。

⑤ 治療薬(服用中の治療薬がある人)

主治医の指示により、現在服用している治療薬がある場合は、必ず持参してください。

以上、ご理解とご配慮の程お願い申し上げます。